

取扱説明書

HITACHI

日立デジタルカラープリンタ VY-60D

愛情点検

長年ご使用のデジタルカラープリンタの点検を！

● デジタルカラープリンタの補修用性能
部品の最低保有年数は、製造打ち
切り後8年です。



このようなことは
ありませんか。

- 電源プラグやコードが異常に熱くなる。
- こげくさい臭いがしたり、動作中に
異常な音や振動がする。
- 紙づまりがたびたび起こる。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセ
ントから電源プラグを抜いて販
売店にご連絡を…。
点検・修理についての費用など
くわしいことは別紙「お問い合
わせ窓口」にご相談ください。

このたびは、日立デジタルカラープリンタをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは、保証書・ご相談窓口一覧表とともに
大切に保存してください。

お客様メモ

後日のために記入して
おいてください。

サービスを依頼される
ときお役に立ちます。

ご購入店名

電話 () -

ご利用開始年月日 平成 年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号
が一致しているかご確認ください。

企業や公共機関の家電品ニーズにおこたえする窓口

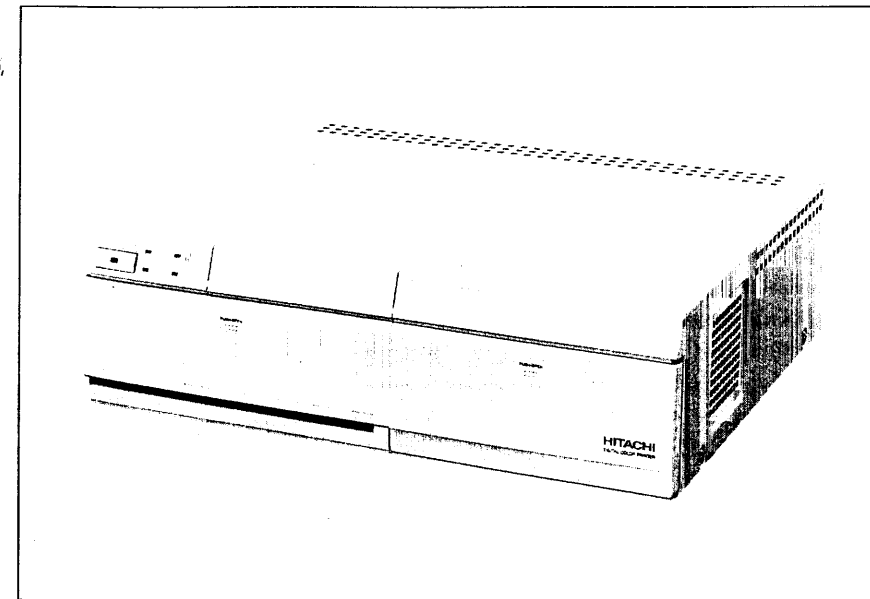
☎0120-312119

家電ビジネス情報センター 平日午前9時～午後5時30分、土・日・祝日は休業

 株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12

電話 (03) 3502-2111



このページの概要

タイトル

プリントする

アプリケーションソフトから印刷の操作をしてプリントします。ここでは、Windowsのペイントブラシで取り込んだ映像を例に説明します。アプリケーションによっては、操作のしかたが違います。詳しくは、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

お知らせ

操作するときに、気を付けていただきたいことが書いてあります。

準備

操作するまえに、しておいていただきたいことが書いてあります。

プリンタ本体

操作手順

画面

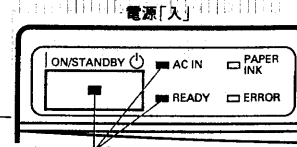
操作の結果、パソコンに現れた画面を表示しています。番号は操作手順に対応しています。番号で示されたボタンや項目が、どの手順で使用されるかをあらかじめお知らせします。

お知らせ 付属のドライバディスクのインストールとセットアップをしていないと、プリントできません。設定のしかたは、21ページ～27ページをご覧ください。

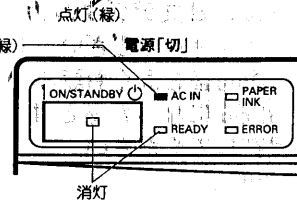
1

プリンタの電源が「入」になっていることを確認してください。

- ON/STANDBY、AC IN、READYランプが点灯していれば、電源「入」の状態です。



- AC INランプのみが点灯していれば、電源「切」の状態です。ON/STANDBYボタンを押して、電源「入」にしてください。
- 電源を入れた直後は、READYランプが点滅します。点灯に変わるまで、そのまましばらくお待ちください。
- PAPER INKランプが点滅しているときは、ペーパーまたはインクカートリッジが正しく入っているか確認してください。(17～19、20ページ)



2

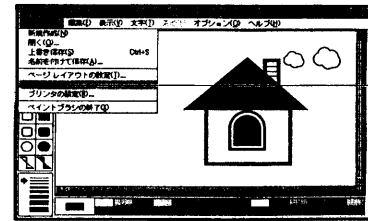
パソコンのアプリケーションソフトで、プリントする映像を読み込みます。

- プリントする映像の編集のしかたは、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

3

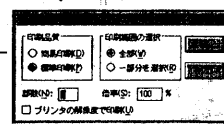
グラフィックスソフトウェアの「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)...」を選択します。

- 「印刷」ダイアログが現れます。
- アプリケーションソフトにより、印刷メニューは違います。



クリックすると

4



28

読みたいページの見つけかた

- 「各部のなまえ」(12ページ)で探します。
- 「索引」(38ページ)で探します。

この取扱説明書の見かた.....2

安全にお使いになるためのご注意.....4

使用上のご注意.....9

特長.....11

 付属品を確認しましょう.....11

 ドライバソフトウェアの使用環境.....11

各部のなまえ.....12

プリントの流れ.....14

接続する.....15

 プリントキットについて.....16

 プリントペーパーを入れる.....17

 インクカートリッジを入れる.....20

インストールする

 ソフトウェアをインストールする.....21

 ポートを設定する.....24

プリンタの設定をする.....25

プリントする.....28

画質を調節する.....30

紙づまりしたとき.....32

お手入れのしかた.....35

保証とアフターサービス(必ずお読みください).....36

故障かな...と思ったら.....37



索引.....38

仕様.....39

安全にお使いになるための ご注意

この取扱説明書には、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、重要な注意事項を記載していますので、必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保存してください。

表示について

 警告	誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される」内容、および「物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

- ※1 重傷..... 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 傷害..... 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害..... 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味

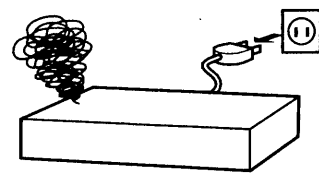
	この記号は、気を付けていただきたい「注意」内容です。
	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この記号は、「水場での使用禁止」を表しています。
	この記号は、「分解禁止」を表しています。
	この記号は、手を触れてはいけない「接触禁止」を表しています。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	この記号は、コンセントから「電源プラグを抜く」ことを表しています。

警告

煙が出ている、変なおいがするなど異常なときは、電源プラグを抜く



プラグを抜く



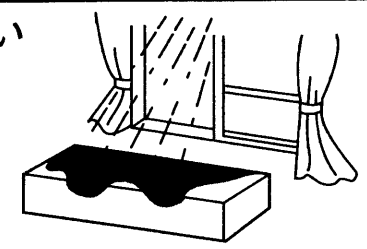
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 異常状態に気付いたらすぐに使用を中止し、販売店にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

水にぬらさない



水場での使用禁止



内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 水場では本機を使用しないでください。
- 屋外や窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。
- 内部に水が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。

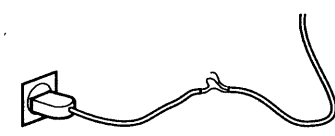
電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるので、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- たばねない
- 重い物や角が鋭利な物をのせない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- 敷物などでおおわない



禁止



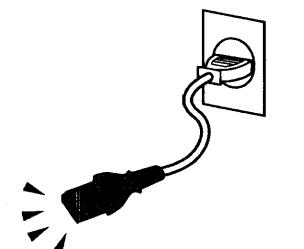
破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 万一、コードが破損したときは、電源プラグをコンセントから外して販売店にご相談ください。

電源プラグだけをコンセントに差し込んだままにしない



禁止

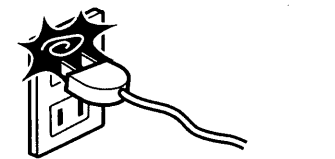


本機に接続しないで、電源プラグだけをコンセントに差し込んだまま放置しないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグにほこりや汚れ・金属物などの異物を付着させない



禁止



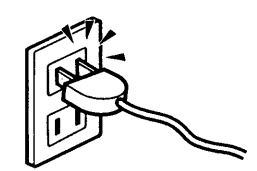
電源プラグに異物が付着したまま使用すると発熱し、火災・感電の原因となります。

- 万一、付着しているときは、電源プラグをコンセントから外し、取り除いてください。

電源プラグが不完全な接続のまま使わない



禁止



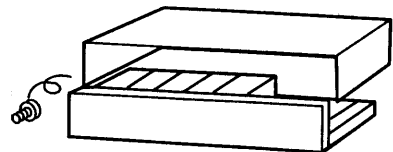
接触不良で発熱し、火災の原因となります。

警告

分解・改造しない、カバーを開けない



分解禁止



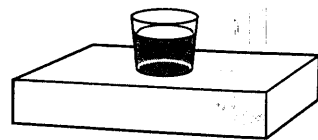
分解・改造すると、火災・感電、やけどの原因となります。

- カバーの内部には電圧の高い危険な部分や高温の部分があります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない



禁止

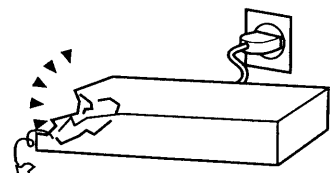


本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。水や金属物が入ると火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損しない



禁止



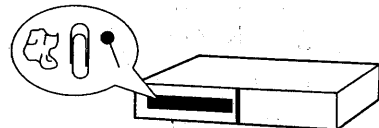
落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても内部に異常がある場合があります。

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

内部に異物を入れない



禁止



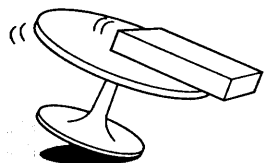
本機の開口部(給紙トレイ収納部、インクカートリッジ収納部)、通風孔などから内部に金属物や燃えやすい物など異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

- お子様のいるご家庭では特にご注意ください。
- 内部に異物が入ってしまったときは、使用を中止し、販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

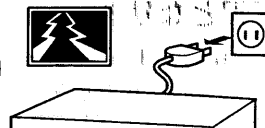


禁止



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

雷が発生しそうなときは



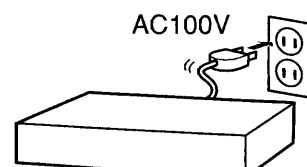
プラグを抜く 接触禁止

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷により火災・感電の原因となります。
- 雷が激しいときは、本機や電源コードに触れないでください。感電の原因となります。

交流100ボルトの電源電圧で使用する



強制

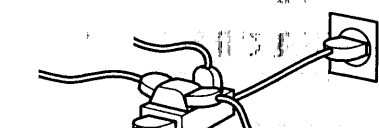


交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

タコ足配線しない



禁止



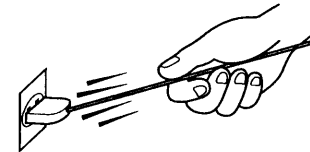
タコ足配線しないでください。火災・過熱の原因となります。

注意

電源コードを持って抜かない



禁止

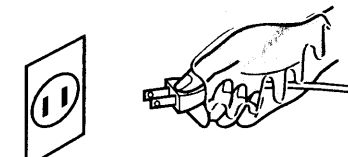


電源コードをコンセントや本機後面から抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。電源コードを持って引っ張るとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



禁止

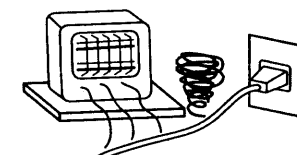


ぬれていると感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



禁止



コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

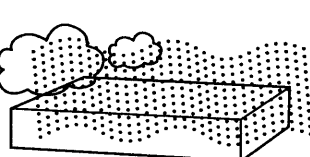
湿気、ほこり、湯気は避ける 振動が激しい場所は避ける

火災・感電を防止するため、次のような場所に置かないでください。

- 湿気やほこりの多い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 温風または冷風が当たる場所
- 振動が激しい場所



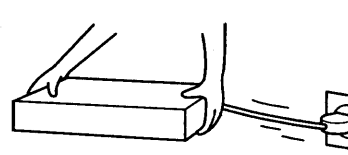
禁止



移動させるときは注意する



注意

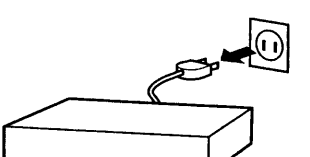


移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器周りの接続コードを外したことを確認のうえ、行ってください。外さないで移動するとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



プラグを抜く

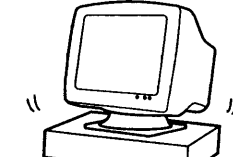


安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機の上に重い物を置かない



禁止



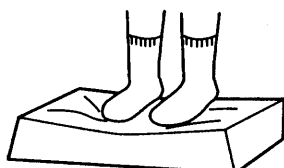
本機の上に重い物やパソコン本体やディスプレイなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

注意

本機の上に乗らない



禁止

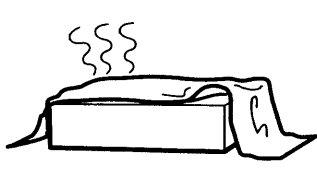


倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

通風孔をふさがない



禁止

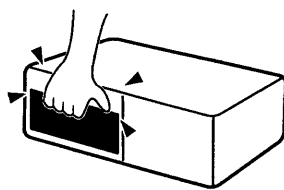


本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

給紙トレイ収納部の穴以外の部分に触れない



接触禁止

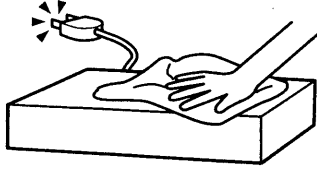


給紙トレイ収納部の内部下部にある穴以外に手を触れないでください。けがの原因となることがあります。

お手入れするときは電源プラグを抜く



プラグを抜く

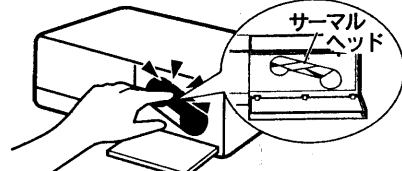


安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

インクカートリッジ収納部のサーマルヘッドに触れない



接触禁止

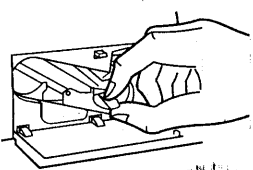


インクカートリッジ収納部の天井付近にあるサーマルヘッド(インクをペーパーに熱転写する部分)に手を触れないでください。やけどの原因となることがあります。特に連続プリントした直後など、非常に高温になりますのでご注意ください。

つまったペーパーを引き出すときはけがに注意する



注意



インクカートリッジ収納部の金属部などに強く触れると、けがの原因となることがあります。ご注意ください。

保守点検について



注意

保守点検を販売店などにご相談ください。長い間掃除しないと本機内部にほこりがたまり、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については、販売店などにご相談ください。

高温(または低温)の所に設置しない	● 35℃以上の暑い所や、5℃以下の寒い所でご使用にならないでください。画質の低下や、故障の原因となることがあります。
周囲に密着させて設置しない	● 本機の周囲をあけておいてください。密着させて置くと、通風孔がふさがれ、内部温度が上がり、故障の原因となります。
強力な磁気のある所に設置しない	● 本機内部が磁気の影響を受け、プリント画の画質が低下したり、故障の原因となることがあります。
振動する場所に設置しない	● 故障の原因となることがあります。
ごみやほこりの多い場所で使用しない	● サーマルヘッドにごみなどが付着し、プリント画に白いすじが発生したり故障の原因となります。
立てて使用しない	● 本機を垂直に立てて使用しないでください。紙づまりの原因となることがあります。
衝撃を与えない	● ぶつけたり、落としたりすると、故障の原因となることがあります。
ペーパー排出口の前に物を置かない	● プリントされたペーパーが出てくるときにぶつかって紙づまりの原因となることがあります。特に連続プリントのときはご注意ください。
結露にご注意	● 本機内部に水滴がつくことを結露といいます。結露したまま使用すると、画質劣化や色ムラ、紙づまり、故障の原因になります。 ● 結露してしまったら、本機が周囲の温度になじむまでお待ちください。そのあとで、電源プラグをコンセントに差し込み、2時間ほど経ってからお使いください。 なお、コンセントにつないだままにしておくと、結露しにくくなります。 ● 次のようなときに結露しやすいのでご注意ください。 ① 寒い場所から急に暖かい場所へ移したとき ② 暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなどの直接冷風のあたる所に置いたとき ③ 夏季に冷房のきいた部屋から、急に温度や湿度の高い部屋へ移したとき
外国では使えません	● このデジタルカラープリンタは日本国内用です。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
お手入れの際は	● 安全のため、電源プラグをコンセントから抜いたあと行ってください。 ● ベンジンやシンナーなどでふくと、変質したり、塗装がはがれることがありますのでおやめください。 ● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。 ● 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を、よく絞ってふき取り、乾いた布でふいてください。
インクカートリッジに残った画像について	● このデジタルカラープリンタは、あらかじめインクを塗ったインク紙を使い、ペーパーへ熱転写して画像を再現しています。このため、プリント後のインク紙には、ネガ状態の画像が残っています。プライバシーを守るために、インクカートリッジを処分するときは、この点に充分ご注意ください。
プリントしたものをカードに貼り付けない	● キャッシュカードやプリペイドカード(テレホンカードなど)に貼り付けないでください。カードを扱う機械装置が故障することがあります。
著作権について	● あなたが製作・撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(営業損失などの補償)の責については、ご容赦ください。

ソフトウェアのご使用について

デジタルカラープリンタVY-60Dには付属にドライバディスクが入っています。ドライバディスクのソフトウェアをご使用の際には次のことにご注意ください。

- 添付のソフトウェアは1台のVY-60Dについて使用することができます。
- 添付のソフトウェア及び付属するすべての印刷物についての著作権は株式会社日立製作所(以下弊社)が有しており、弊社の許可なく複製することはできません。
- 添付のソフトウェアを譲渡、貸出、その他の方法で第三者に使用させることはできません。
- 添付のソフトウェア及び付属するすべての印刷物に製造上の物理的な欠陥(フロッピーディスクの破損、印刷物の乱丁、落丁等)があった場合には良品と交換いたしますが、それ以外の責についてはご容赦ください。
- いかなる場合においても弊社は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害に関して、一切責任を負わないものとします。
- ソフトウェア及び印刷物の内容は、予告なく変更することがあります。

添付のソフトウェアに関する最新情報が、ドライバディスクの[README.TXT]ファイルに入っています。
Windowsのメモ帳を使ってファイルを開き、お読みください。

この装置は、第二種情報装置(住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置)で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機はパソコンのアプリケーションソフトで作成した映像を、専用のペーパーとインク紙を使ってプリントするデジタルカラープリンタです。

▶ 約60秒の高速プリント

- 1枚プリントするのにかかる時間は約60秒*です。
- * プリントキットVY-HS100またはVY-HS30を使用した場合でデータ転送時間を除いたときの時間です。

▶ パラレル データ インターフェイス PARALLEL DATA I/F端子搭載

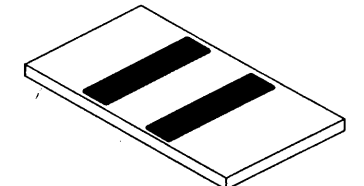
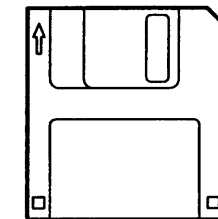
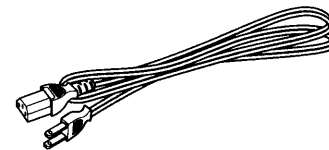
Microsoft Windows (ver. 3.1以上)対応パソコンと接続して、アプリケーションソフトで作成した画像をプリントできます。

▶ 100枚連続プリント

- コピー枚数を設定することにより、最高100枚*まで、同じ映像を続けてプリントすることができます。
- * プリントキットVY-HS100を使用したときだけです。

付属品を確認しましょう

- 電源コード … 1本
- ドライバディスク … 1枚
- はがき・クリーニングプレート … 1枚



官製はがきにプリントするとき使います(18ページ)。
また、ペーパー搬送部のローラーが汚れたとき使います(35ページ)。

ドライバソフトウェアの使用環境

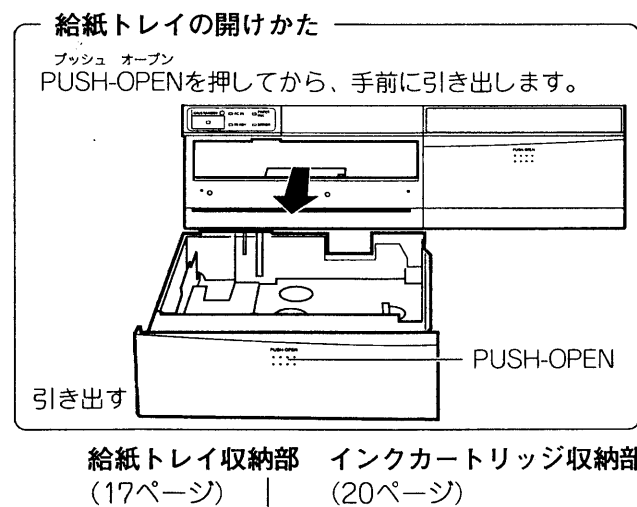
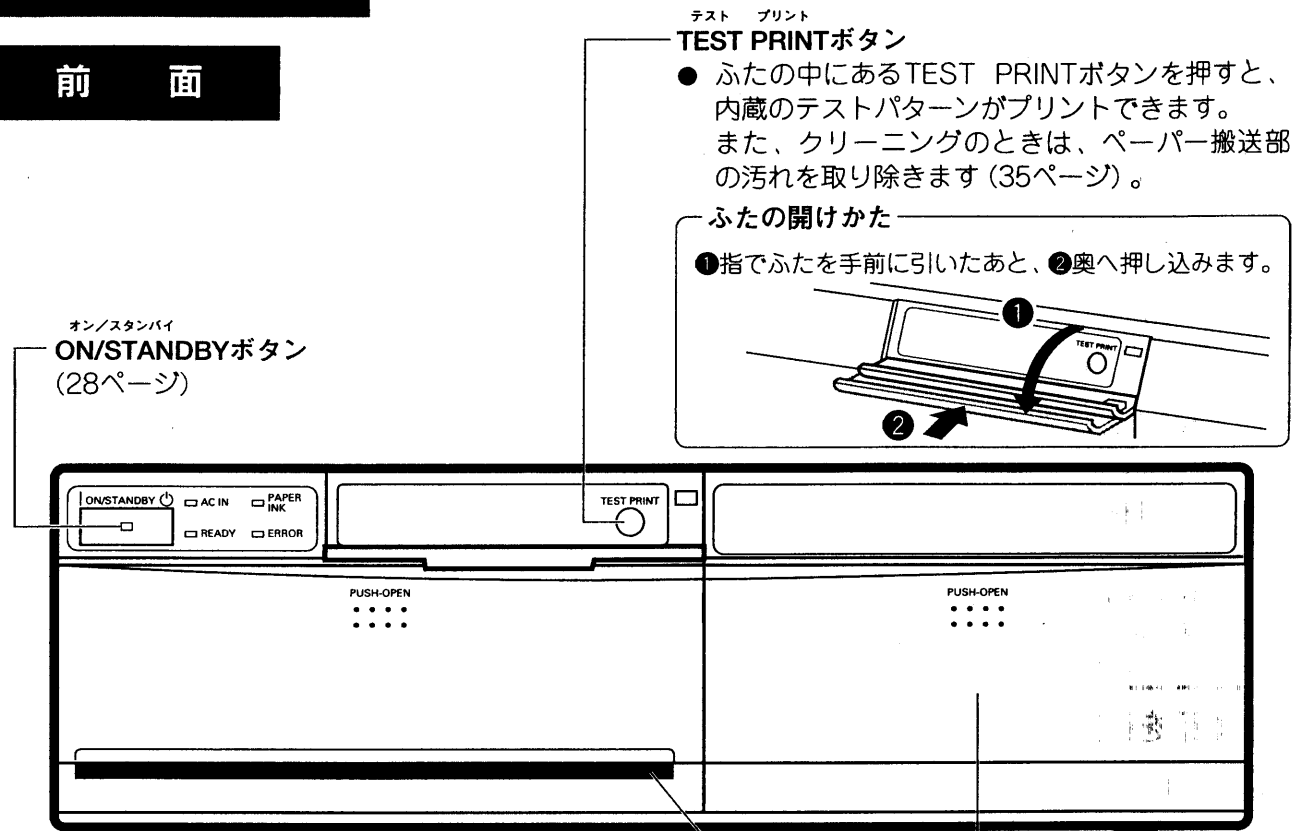
HITACHI VY-60Dドライバソフトウェアのインストールと使用には、次のようなハードウェアとソフトウェアが必要です。

- パソコン (CPU) 80386以上 (80486以上推奨)
- 主記憶メモリ 8Mbyte以上
- ハードディスク 空き容量2Mbyte以上
- ケーブル 平行プリンタ用ケーブル
- オペレーティングシステム Microsoft Windows ver. 3.1以上

- Microsoft、MS-DOS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- その他、この取扱説明書に記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

前面

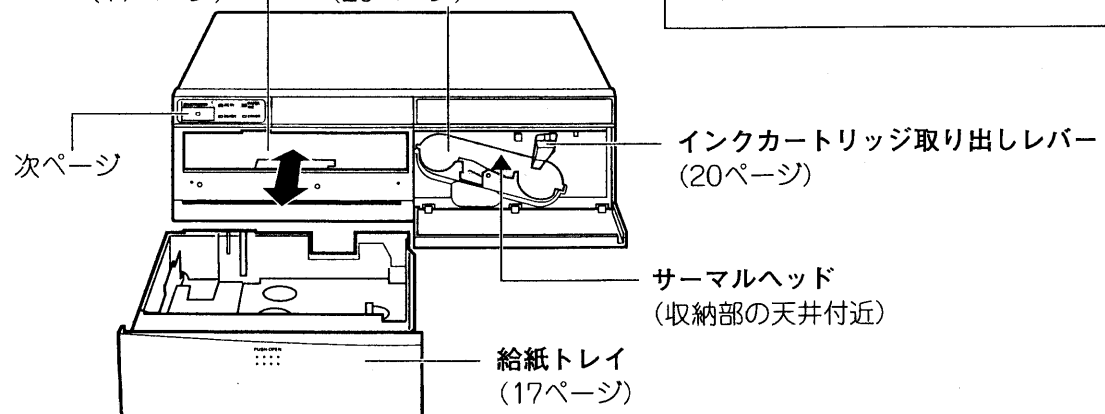


警告

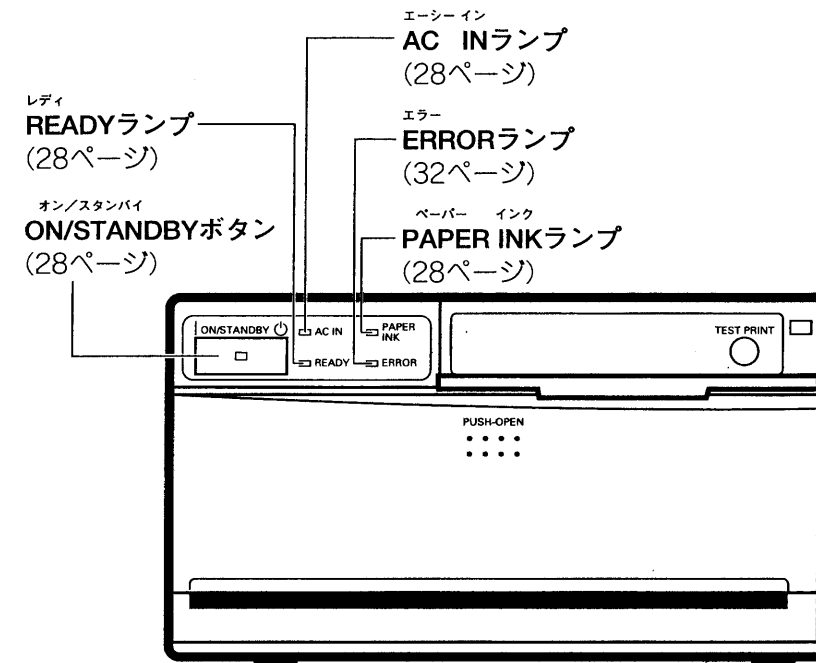
- 給紙トレイ収納部やインクカートリッジ収納部などから内部に異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

注意

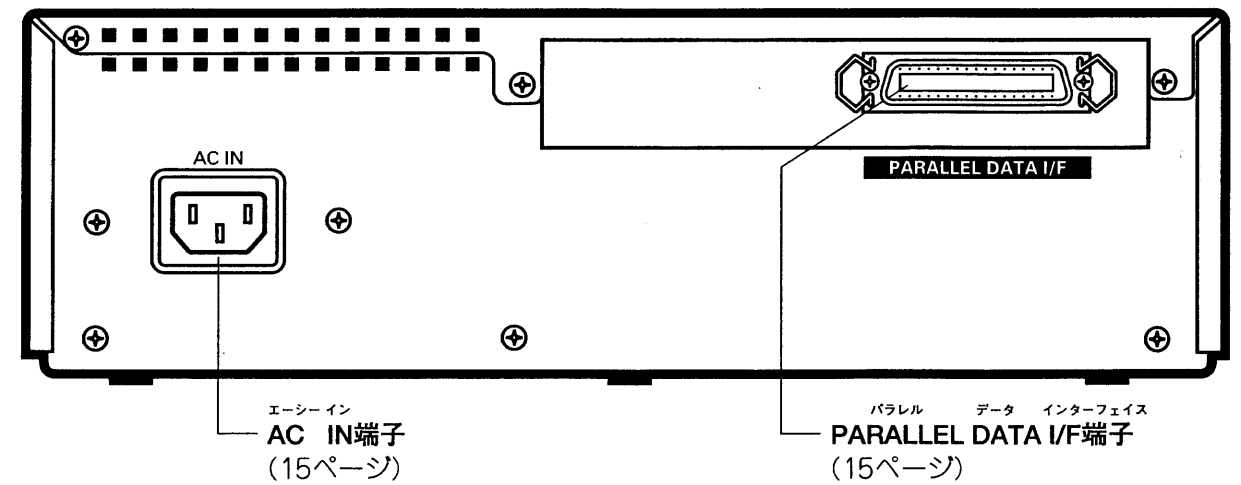
- インクカートリッジ収納部の天井付近にあるサーマルヘッドに手を触れないでください。やけどの原因となることがあります。特に連続プリントした直後など、非常に高温になりますのでご注意ください。



前面



後面



プリントの流れ

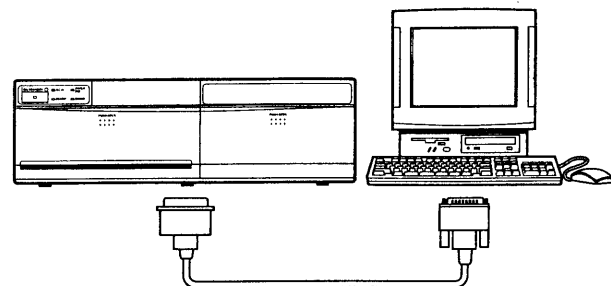
プリントするまでの手順は下記のようにになっています。

1

パソコンと接続します。

- 本機とパソコンを接続します。
- プリンタケーブルは販売店にご確認のうえ市販品をお買い求めください。

(くわしくは15ページ)

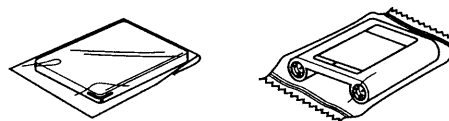


2

ペーパーとインクカートリッジを入れます。

- ペーパーとインクカートリッジは別売りです。販売店にお申し付けください。

(くわしくは16~20ページ)

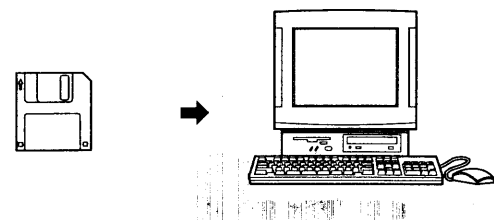


3

インストールします。

- パソコンで、付属のドライバディスクのインストールとプリンタの設定をします。
- いったんインストールするとソフトウェアはパソコン内にメモリーされます。プリントのたびにインストールする必要はありません。

(くわしくは21ページ)



4

パソコンのアプリケーションソフトでプリントする映像をつくります。

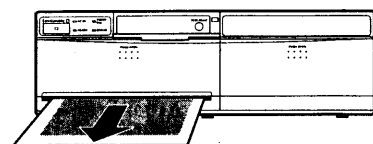
- アプリケーションソフトによって編集のしかたは違います。アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

5

プリントします。

- パソコンからデータを送ってプリントします。画質を調節してプリントすることもできます。

(くわしくは28ページ)



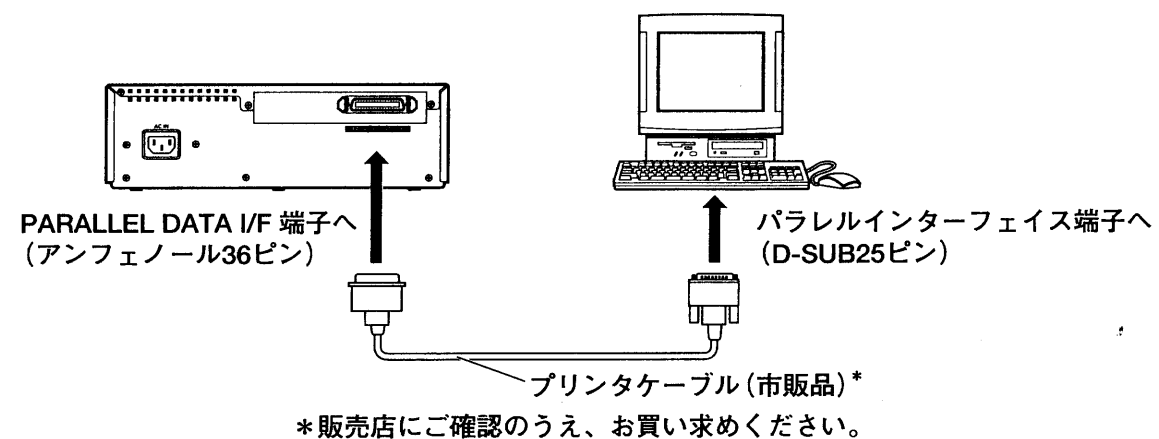
接続する

! 注意

安全のため、パソコンと接続するときはプリンタとパソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。

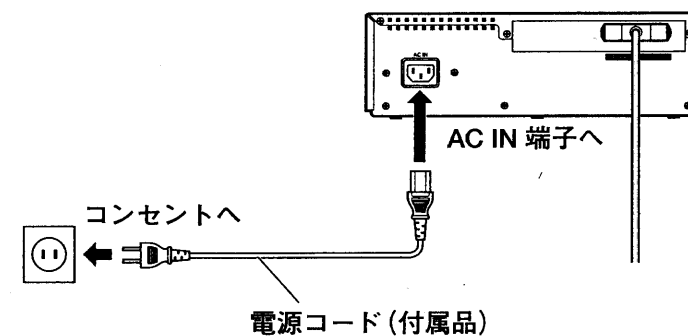
1

パソコンと接続します。



2

電源コードを接続します。



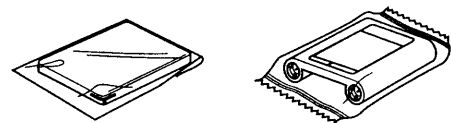
お知らせ

- 本機は電源コードをコンセントへ接続すると自動的に電源が入ります。

プリントキットについて

プリントするには、別売りのプリントキットが必要です。プリントキットは官製はがき用VY-SPP30を除き、プリントペーパー(記録紙)とインクカートリッジ(インク紙)がセットになっています。

用途に合ったプリントキットをお使いください。



お知らせ

- 当社が別売品としているもの以外は使用しないでください。
- プリントキットはペーパーとインクカートリッジがセットになっています。箱に納められている組み合わせでプリンタに入れてください。組み合わせを変えると、紙づまりの原因になります。

写真としてプリントするとき

カラープリント用標準タイプ

VY-HS100

標準価格 6,500円 **税別**

- プリントペーパー100枚とインクカートリッジ1個(100枚分)。
- ペーパーサイズ: 140mm x 100mm

カラープリント用標準タイプ

VY-HS30

標準価格 2,100円 **税別**

- プリントペーパー30枚とインクカートリッジ1個(30枚分)。
- ペーパーサイズ: 140mm x 100mm

官製はがきにプリントするとき

官製はがき用インクカートリッジ

VY-SPP30(発売予定)

標準価格 2,100円 **税別**

- インクカートリッジ1個(30枚分)とお試しペーパー2枚。
- 官製はがきは別途お買い求めください。

シールとしてプリントするとき

顔写真をプリントして名刺などに貼り付けたりすることができます。

シール用標準タイプ

VY-HC30(発売予定)

標準価格 3,000円 **税別**

- シールタイプのプリントペーパー30枚と、インクカートリッジ1個(30枚分)。
- ペーパーサイズ: 140mm x 100mm

お知らせ

プリペイドカードには貼り付けしないでください。

ご注文は

デジタルカラープリンタをお買い上げの販売店にお申しつけください。
なお、お取り寄せとなる場合もあります。あらかじめご了承ください。

プリントペーパーを入れる

お知らせ

ご使用のプリントキットがVY-HS100のときだけ、100枚までプリントペーパーを入れられます。

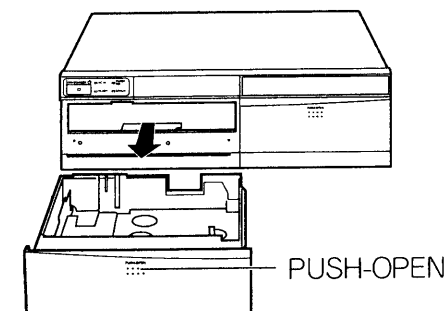
VY-HS100以外のときは、給紙トレイに入れるペーパーは30枚以下にしてください。

プリントペーパーを入れる

1

給紙トレイを引き出します。

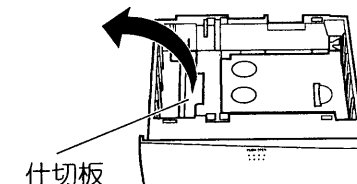
- PUSH-OPENを押すと、給紙トレイが少し出てきます。手前に引き出してトレイを取り出してください。
- プリント中に引き出すと、プリントが中断します。故障の原因となることがありますので、プリント中に引き出さないでください。



2

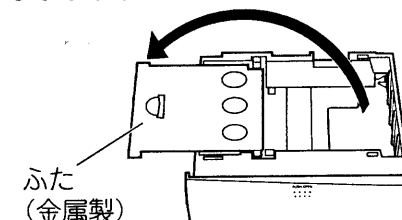
給紙トレイの中にある仕切板を立てます。

- 工場出荷時は給紙トレイの中にテープが貼ってあります。テープをはがしてから仕切板を立ててください。



3

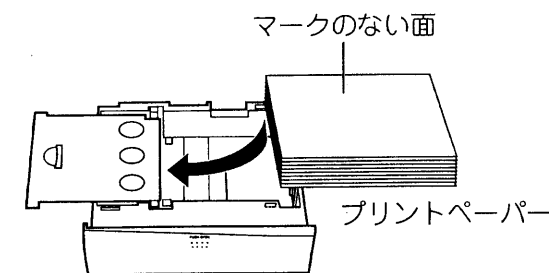
給紙トレイの中にある金属製のふたを開けます。



4

プリントペーパーを入れます。

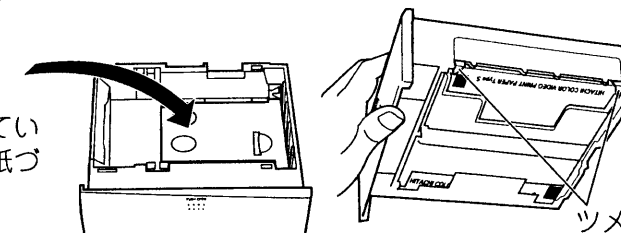
- ペーパーをよくほぐしてください。このとき、ペーパーのプリント面(マークのない面)に触れないように、ペーパーの端の部分を持ってほぐしてください。
- プリント面(マークのない面)を上に入れてください。逆に入れるとプリントされません。



5

金属製のふたを戻します。

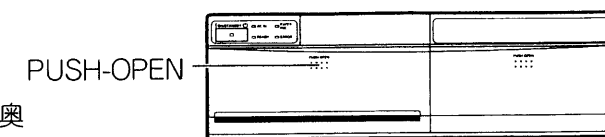
- ペーパーの角がトレイ裏側のツメに納まっているか確認してください。納まっていないと紙づまりの原因となることがあります。



6

給紙トレイを戻します。

- PUSH-OPENを押して、給紙トレイ収納部の奥までしっかり入れてください。



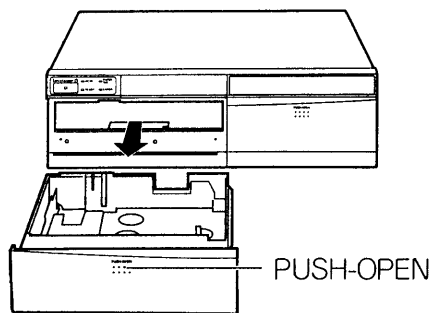
プリントペーパーを入れる(つづき)

官製はがき用インクカートリッジ(VY-SPP30)を使うと、市販の官製はがきにプリントすることができます。

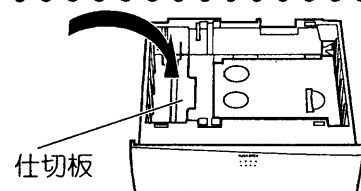
官製はがきを入れる

1 給紙トレイを引き出します。

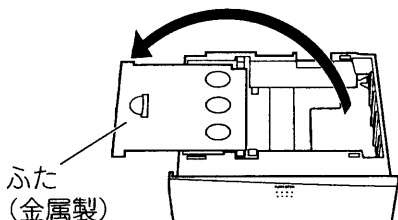
- PUSH-OPENを押すと、給紙トレイが少し出てきます。手前に引き出してトレイを取り出してください。
- プリント中に引き出すと、プリントが中断します。故障の原因となることがありますので、プリント中に引き出さないでください。



2 給紙トレイの中にある仕切板を内側に倒します。



3 トレイの中の金属製のふたを開けます。

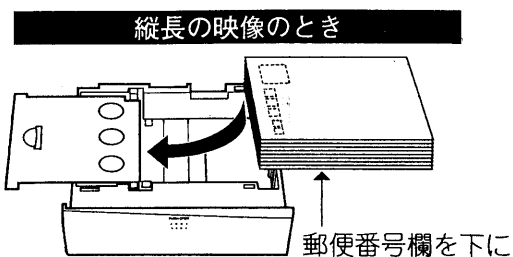
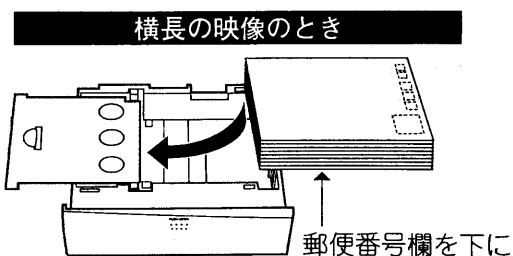


4 官製はがきを入れます。

- パソコンの画面に映る映像に応じて官製はがきを入れてください。入れかたを間違えると、正しい向きでプリントされません。
- 横長の映像のときは、あて名を記入する面を下に向け、郵便番号が右側にくるように入れます。
- 縦長の映像のときは、あて名を記入する面を下に向け、郵便番号が左側にくるように入れます。

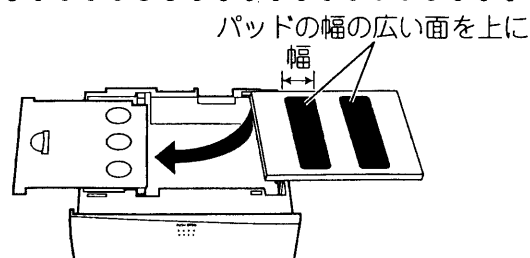
お知らせ 官製はがきの反りを直してから入れてください

官製はがきの反りが大きいと、電源を「入」にしたとき官製はがきが入っていてもPAPER INKランプが点滅することがあります。(28ページ)
反りを直しても点滅が消えないときは、給紙トレイに入れる官製はがきの枚数を10枚以下にしてください。



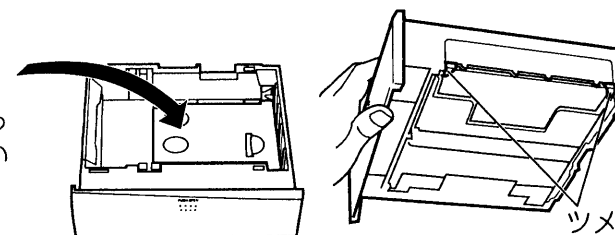
5 はがき・クリーニングプレートを官製はがきの上に重ねて入れます。

- プレートに付いているパッドの幅が広い面(黒色の表面がけぼだっている面)を上にして入れます。



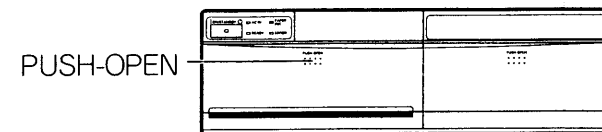
6 金属製のふたを戻します。

- 官製はがきの角がトレイ裏側のツメに納まっているか確認してください。納まっていないと紙づまりの原因となることがあります。



7 給紙トレイを戻します。

- PUSH-OPENを押して、給紙トレイ収納部の奥までしっかり入れてください。

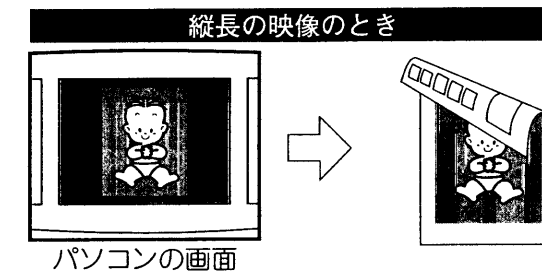
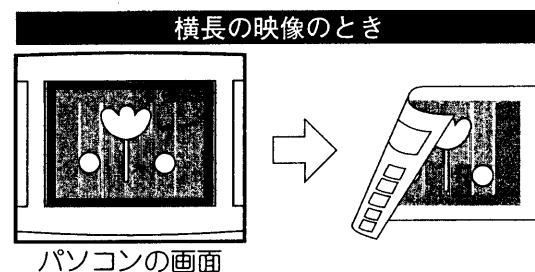


官製はがき用インクカートリッジ(VY-SPP30)について

- このプリントキットには、官製はがき用のインクカートリッジ1個とお試しペーパー2枚が入っています。
- 官製はがきのプリント画は「プリントキット標準タイプ」に比べて、紙表面のざらつきにより、色および仕上がりが均一でないことがあります。用途に応じて使いわけてください。

官製はがきへのプリント例

前のページの手順④のように、官製はがきを入れると、パソコンの画面に映る映像は次のようにプリントされます。



お知らせ プリントペーパーの取り扱い上の注意

- プリントペーパーを折ったり、曲げたりしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- ぬれたペーパーは絶対に使用しないでください。
- 官製はがきは、あて名や文章などを記入する前に入れてください。記入後に入れてプリントすると、紙づまりや、正しくプリントされない原因になります。
- プリンタを移動したり、輸送するときは、ペーパーを給紙トレイから取り出してください。
- プリント面(マークのない面)に触れないでください。指紋やほこりが付着すると、きれいにプリントできないことがあります。
- 一度プリントしたペーパーを、再度プリンタに入れてプリントしないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- 使用中で長期間保存するときは、プリントペーパーの入っていた袋に入れて保存してください。

プリント画の保存について

- 収納部分がセロハンやナイロン系の写真用アルバムをお使いください。
- 軟質塩化ビニールやゴムなどを接触させたまにしないでください。変色や色うつりの原因になります。
- プリント面どうしを重ね合わせたまにしないでください。
- 直射日光が当たる所や、高温になる所に保存しないでください。変色することがあります。

インクカートリッジを入れる

プリントキットのインクカートリッジを次のように入れてください。

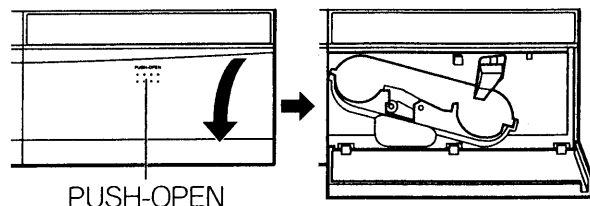
⚠ 注意

インクカートリッジ収納部の天井付近にあるサーマルヘッドに触れないでください。やけどの原因となることがあります。特に連続プリントした直後など、非常に高温になりますのでご注意ください。

1

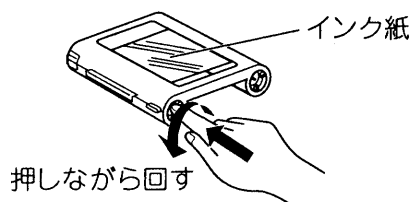
インクドアを開けます。

- PUSH-OPENを押すと、インクドアが少し開きます。指で手前に引いて開けてください。
- プリント中に開けると、プリントが中断します。故障の原因となることがありますので、プリント中に開けないでください。



2

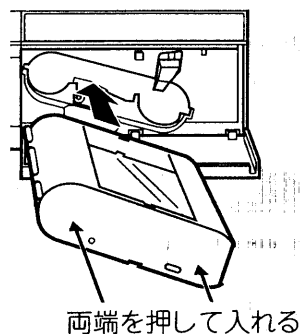
インク紙のたるみを取ります。



3

インクカートリッジ収納部にインクカートリッジを入れます。

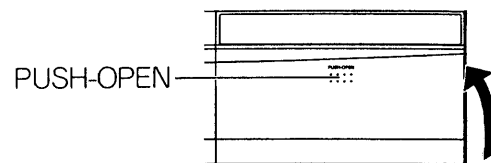
- インクカートリッジ側面の両端を押して、「カチッ」と音がするまで奥へしっかり入れてください。



4

インクドアを閉めます。

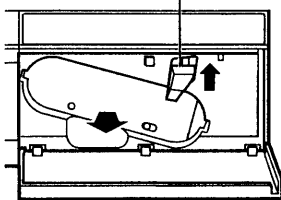
- PUSH-OPENを押して、閉めてください。



インクカートリッジを取り出すとき

インクカートリッジ取り出しレバーを押し上げると、インクカートリッジが出てきます。

インクカートリッジ取り出しレバー



お知らせ

インクカートリッジの取り扱い上のご注意

- プリントペーパーとインクカートリッジは同じ箱のものを本機に装着してください。違う箱のものを組み合わせると、紙づまりやプリント不良の原因になります。
- 温度や湿度の高い所、直射日光が当たる所での保存は避けてください。
- 使用中で長期間保存するときは、インクカートリッジの入っていた袋に入れて保存してください。

インストールする

ソフトウェアをインストールする

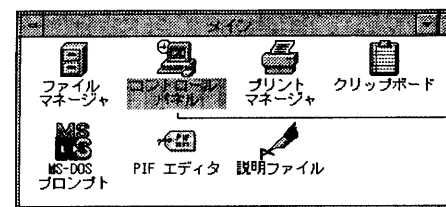
■ 準備 ■

- パソコンの電源を入れます。
- Windowsを立ちあげます。
- 動作しているソフトウェアを終了します。

1

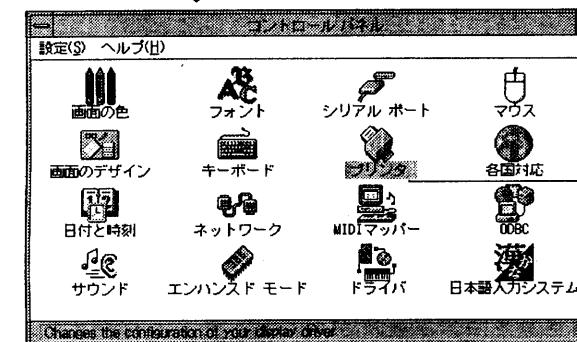
「プログラマネージャ」の「メイン」グループから「コントロールパネル」をダブルクリックします。

- 「コントロールパネル」が現れます。



1

ダブルクリックすると

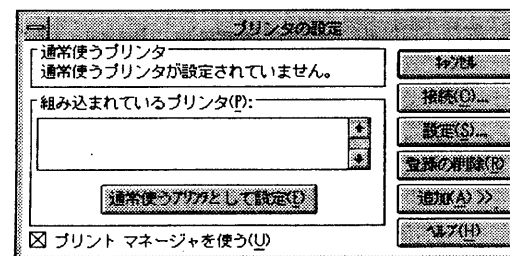


2

2

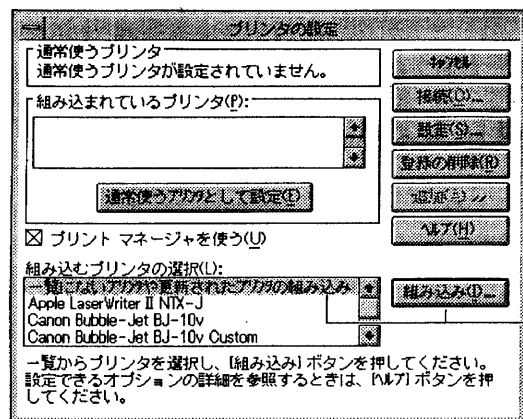
「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックします。

- 「プリンタの設定」ダイアログが現れます。



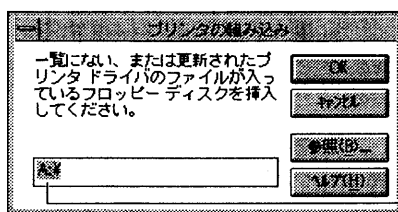
3

3 「追加 (A) >>」ボタンをクリックします。



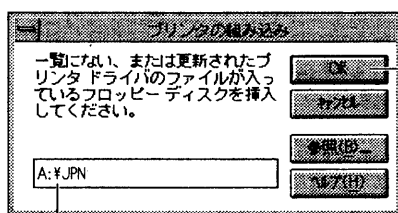
4 「組み込むプリンタの選択 (L):」の「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み」を選択してから、「組み込み (I) ...」ボタンをクリックします。

- 「プリンタの組み込み」ダイアログが現れます。



5 付属のプリンタドライバディスクをディスクドライブに入れてから、「A: ¥JPN」を入力します。

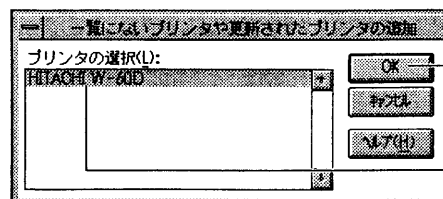
お知らせ 「A: ¥US」は海外機種用のソフトウェアです。必ず「A: ¥JPN」(国内機種用)を入力してください。



A: ¥JPNを入力

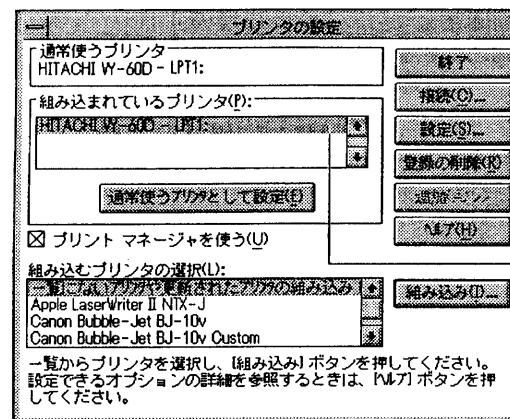
6 「OK」ボタンをクリックします。

- 「一覧にないプリンタや更新されたプリンタの追加」ダイアログが現れます。



7 「プリンタの選択 (L):」に「HITACHI VY-60D」が選択されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。

- 「プリンタの設定」ダイアログに戻ります。



8 「組み込まれているプリンタ (P):」に「HITACHI VY-60D - xxx: (xxx: ポート名、例: LPT1)」が表示されていることを確認してください。

- これで、インストールは終了しました。
- HITACHI VY-60D以外のプリンタがすでに設定されている場合は、通常使うプリンタとして設定されません。HITACHI VY-60Dを通常使うプリンタにするときは、下記の操作をしてください。
- 続けて使用するポートを設定することができます。次ページの「ポートを設定する」の手順③に進んでください。

9 終了するときは、「終了」ボタンをクリックします。

- 「コントロールパネル」に戻ります。

10 「コントロールパネル」を閉じます。

- プログラムマネージャに戻ります。

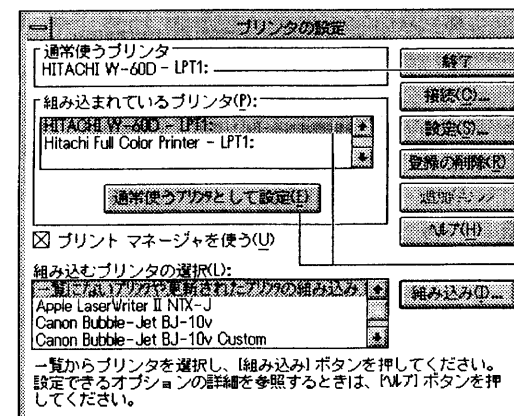
HITACHI VY-60Dを通常使うプリンタにするとき

1 「ソフトウェアをインストールする」の手順⑦の「プリンタの設定」ダイアログで「組み込まれているプリンタ (P):」から、「HITACHI VY-60D - xxx: (xxx: ポート名、例: LPT1)」を選択し、「通常使うプリンタとして設定 (E)」ボタンをクリックします。

2 「通常使うプリンタ」に「HITACHI VY-60D - xxx: (xxx: ポート名、例: LPT1)」が表示されていることを確認してください。

- 続けて使用するポートを設定することができます。次ページの「ポートを設定する」の手順③に進んでください。

3 「ソフトウェアをインストールする」の手順⑨に戻って、操作を続けます。

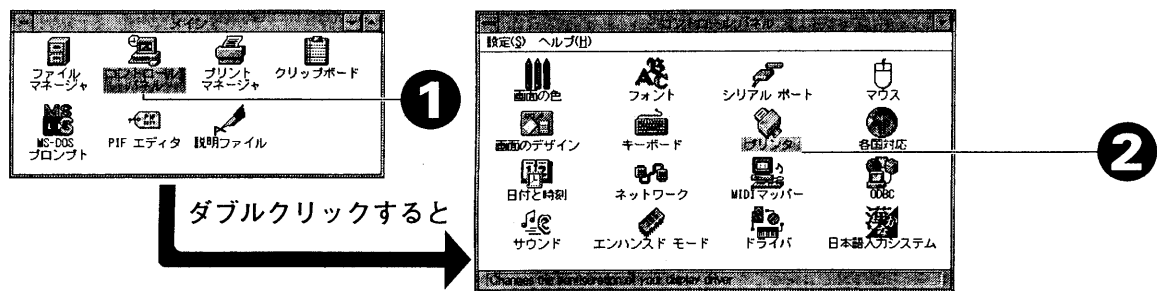


ポートを設定する

- 準備
- パソコンの電源を入れます。
 - Windowsを立ちあげます。

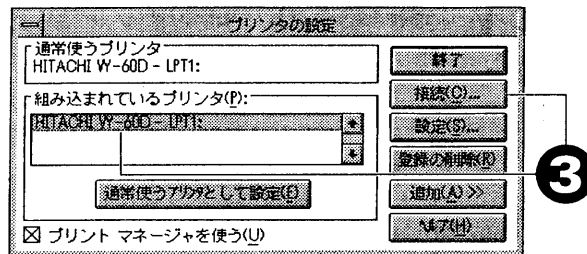
1 「プログラマナー」の「メイン」グループから「コントロールパネル」をダブルクリックします。

- 「コントロールパネル」が現れます。



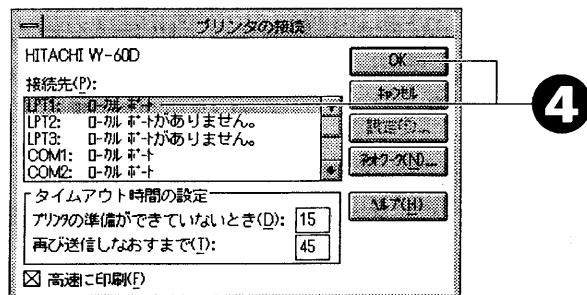
2 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックします。

- 「プリンタの設定」ダイアログが現れます。



3 「組み込まれているプリンタ (P):」から、「HITACHI VY-60D - xxx : (xxx : ポート名、例：LPT1)」を選択し、「接続 (C) ...」ボタンをクリックします。

- 「プリンタの接続」ダイアログが現れます。



4 「接続先 (P):」から使用するポートを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

- 通常は「LPT1 : ローカルポート」を選択します。
- プリンタポートが2つ以上あるときは、接続されているポートを選択してください。
- 「プリンタの設定」ダイアログに戻ります。

お知らせ 「LPT1. DOS」または「LPT2. DOS」を選択しないでください。正しくプリントされないことがあります。

5 「終了」をクリックします。

- 「コントロールパネル」に戻ります。

6 「コントロールパネル」を閉じます。

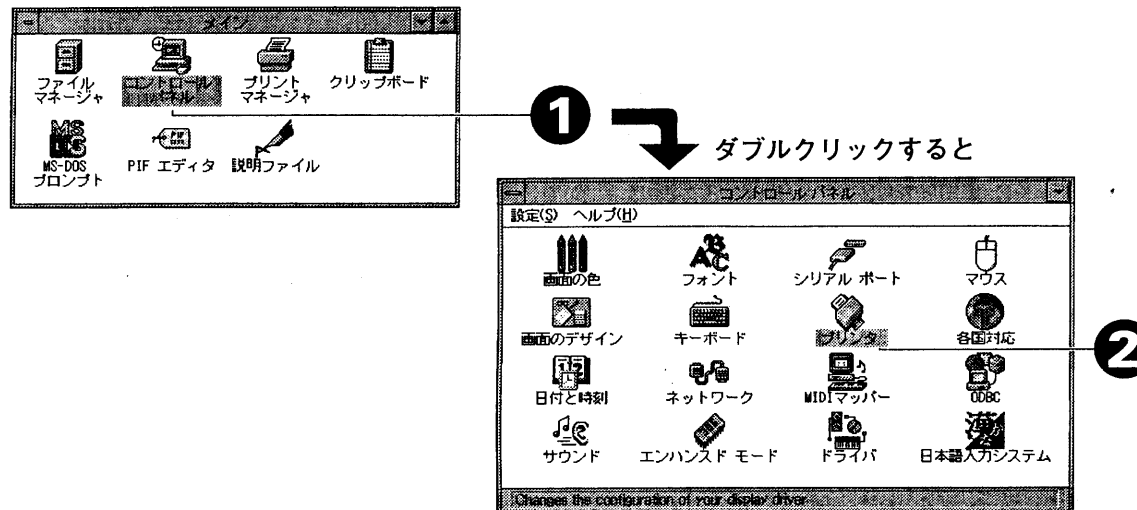
- プログラムマネージャに戻ります。

プリンタの設定をする

- 準備
- パソコンの電源を入れます。
 - Windowsを立ちあげます。

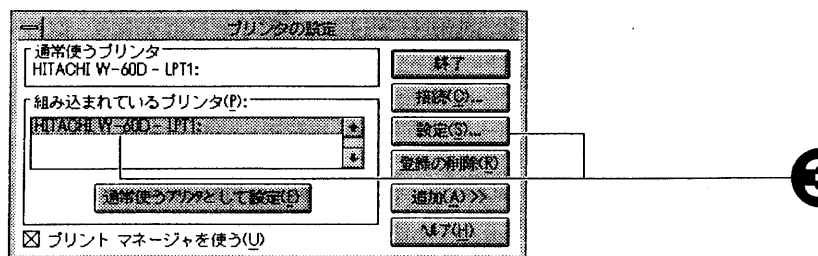
1 「プログラマナー」の「メイン」グループから「コントロールパネル」をダブルクリックします。

- 「コントロールパネル」が現れます。



2 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックします。

- 「プリンタの設定」ダイアログが現れます。

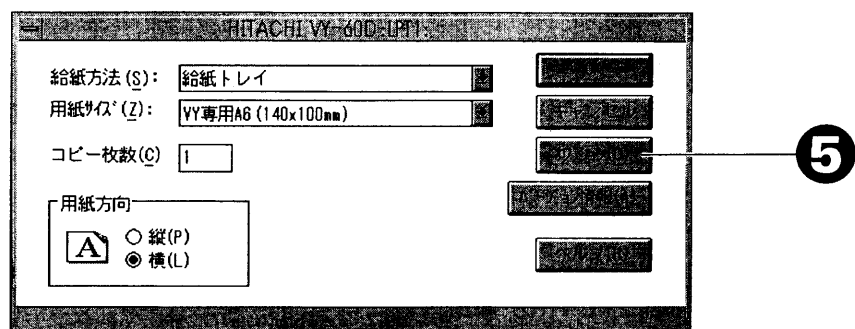


3 「組み込まれているプリンタ (P):」から、「HITACHI VY-60D - xxx : (xxx : ポート名、例：LPT1)」を選択し、「設定 (S) ...」ボタンをクリックします。

- 「HITACHI VY-60D : xxx : (xxx : ポート名、例：LPT1)」ダイアログが現れます。

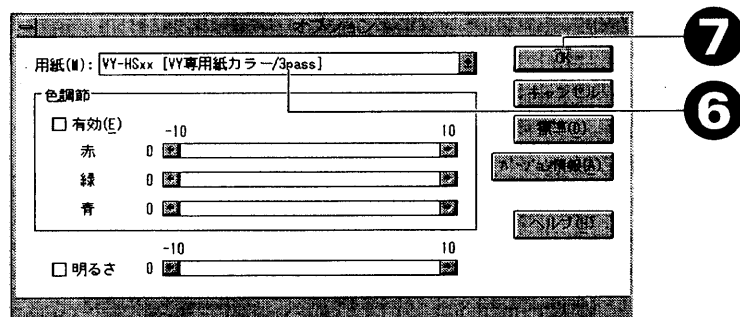
4 各項目の設定をします。

- 給紙方法 (S) :
給紙トレイから給紙します。
- 用紙サイズ (Z) :
官製はがき (148 x 100mm) :
官製はがきにプリントしたいとき選択します。
VY専用A6 (140 x 100mm) :
当社製プリントキットのペーパーにプリントしたいとき選択します。
- コピー枚数 (C) :
プリントする枚数を入力します。1枚から100枚まで設定できます。
- 用紙方向
縦 (P) : プリントする映像が縦長のとき設定します。
横 (L) : プリントする映像が横長のとき設定します。



5 「オプション (O)」ボタンをクリックします。

- 「オプション」ダイアログが現れます。



6 「用紙 (M) :」から使用するプリントキットの種類を選択します。

- 手順 4 で選択した「用紙サイズ (Z) :」により、「用紙 (M) :」に表示されるリスト項目は異なります。
下の表を参照して、ご使用のプリントキットに合った項目を選択してください。

「用紙サイズ (Z) :」で「官製はがき (148 x 100mm)」を選択したとき

用紙 (M) のリスト項目	
VY-SPPxx [官製はがきカラー/4 (1+3+0) pass]	官製はがき用インクカートリッジ VY-SPP30*

「用紙サイズ (Z) :」で「VY専用A6 (140 x 100mm)」を選択したとき

用紙 (M) のリスト項目	
VY-HSxx [VY専用紙カラー/3pass]	カラープリント用標準タイプ VY-HS100またはVY-HS30
VY-HCxx [VY専用シール/3pass]	シール用標準タイプ VY-HC30

*官製はがきは別途お買い求めください。

7 「OK」ボタンをクリックします。

- 「HITACHI VY-60D : xxx : (xxx : ポート名、例 : LPT1)」ダイアログに戻ります。

8 「OK」ボタンをクリックします。

- 「プリンタの設定」ダイアログに戻ります。

9 「終了」ボタンをクリックします。

- 「コントロールパネル」に戻ります。

10 「コントロールパネル」を閉じます。

- プログラムマネージャに戻ります。

プリントする

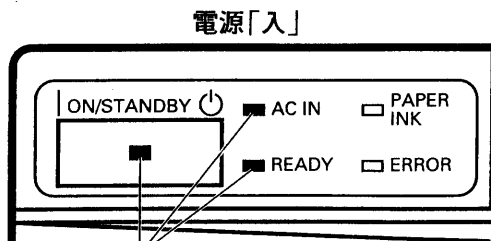
アプリケーションソフトから印刷の操作をしてプリントします。ここでは、Windowsのペイントブラシで取り込んだ映像を例に説明します。アプリケーションによっては、操作のしかたが違います。詳しくは、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

お知らせ

付属のドライバディスクのインストールとセットアップをしていないと、プリントできません。設定のしかたは、21ページ～27ページをご覧ください。

1 プリンタの電源が「入」になっていることを確認してください。

● ON/STANDBY、AC IN、READYランプが点灯していれば、電源「入」の状態です。

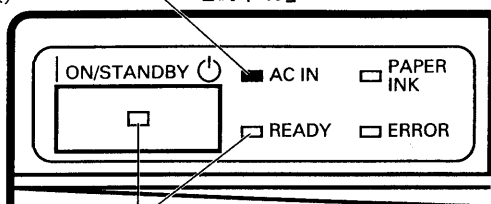


点灯(緑)

- AC INランプのみが点灯していれば、電源「切」の状態です。ON/STANDBYボタンを押して、電源「入」にしてください。
- 電源を入れた直後は、READYランプが点滅します。点灯に変わるまで、そのまましばらくお待ちください。
- PAPER INKランプが点滅しているときは、ペーパーまたはインクカートリッジが正しく入っているか確認してください。(17～19、20ページ)

点灯(緑)

電源「切」



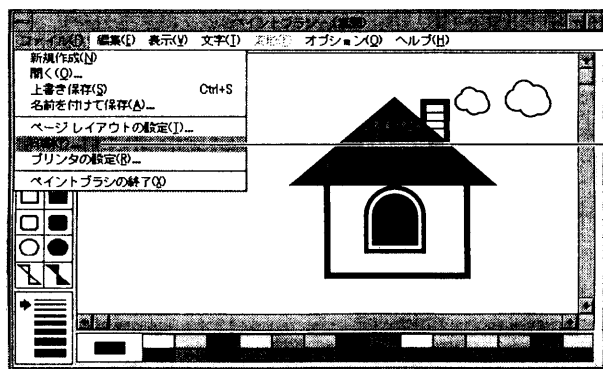
消灯

2 パソコンのアプリケーションソフトで、プリントする映像を読み込みます。

● プリントする映像の編集のしかたは、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

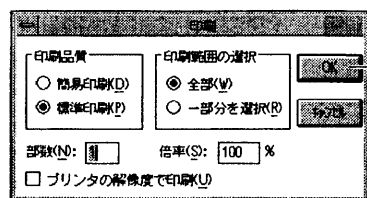
3 グラフィックスソフトウェアの「ファイル(F)」メニューから「印刷(P) ...」を選択します。

- 「印刷」ダイアログが現れます。
- アプリケーションソフトにより、印刷メニューは違います。



3

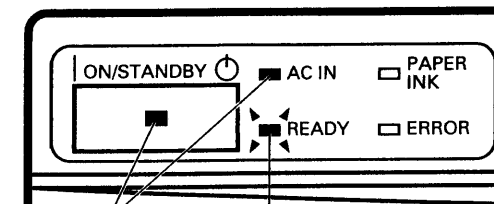
クリックすると



4

4 印刷メニューを設定し、「OK」ボタンをクリックします。

- アプリケーションソフトにより、「OK」ボタンの代わりに、「印刷」ボタンが表示されることがあります。このときは、「印刷」ボタンをクリックしてください。
- プリント中はプリンタのREADYランプが早い点滅になります。

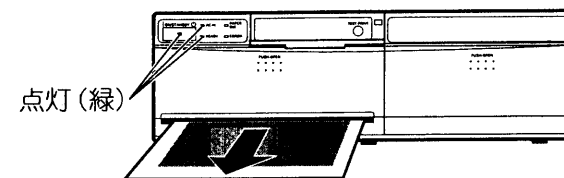


点灯(緑)

早い点滅(緑)

5 プリントされたペーパーが、ペーパー排出口から出てきます。

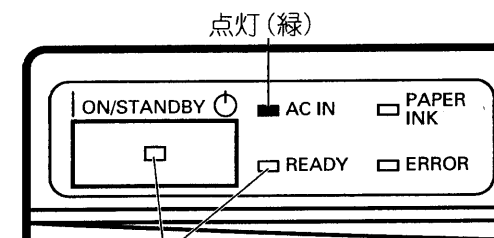
- READYランプが点滅をやめて、点灯に戻ったらペーパーを抜き取ってください。



点灯(緑)

6 プリントを終了するときは、ON/STANDBYボタンを押します。

- ON/STANDBYボタンのランプとREADYランプが消えて電源が「切」になります。



点灯(緑)

消灯

▶ プリント中にON/STANDBYボタンを押して電源を切ると

現在進行中のプリントが終わると、自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。

▶ ペーパーやインク紙がなくなると

PAPER INKランプが点滅してお知らせします。このとき、パソコンの画面にはエラーメッセージが表示されます(32ページ)。

▶ パソコンの画面にエラーメッセージが表示されたとき

メッセージの種類に合わせて処置してください(32ページ)。

▶ ERRORランプが点滅したとき

紙づまりしていませんか(32ページ)。

画質を調節する

映像によっては次の要領で画質を調節すると、よりきれいなプリント画が得られます。

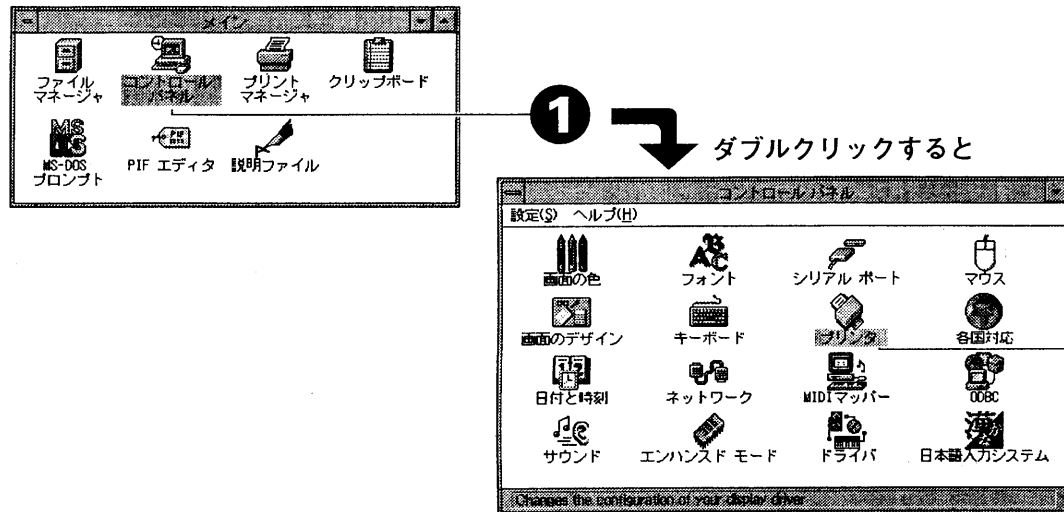
お知らせ

調節した映像をパソコンの画面で見ることにはできません。調節の具合は、プリント画で確認してください。

- 準備 ■
- パソコンの電源を入れます。
 - Windowsを立ちあげます。

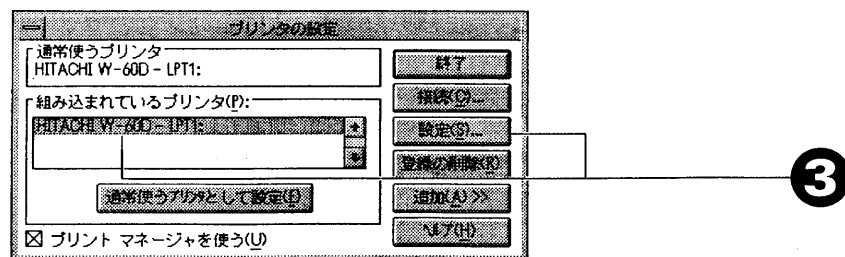
1 「プログラマネージャ」の「メイン」グループから「コントロールパネル」をダブルクリックします。

- 「コントロールパネル」が現れます。



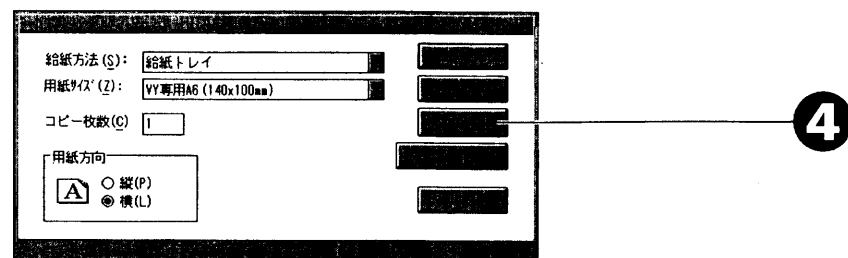
2 「コントロールパネル」の「プリンタ」をダブルクリックします。

- 「プリンタの設定」ダイアログが現れます。



3 「組み込まれているプリンタ (P):」から、「HITACHI VY-60D - xxx (xxx: ポート名、例: LPT1)」を選択し、「設定 (S) ...」ボタンをクリックします。

- 「HITACHI VY-60D : xxx : (xxx: ポート名、例: LPT1)」ダイアログが現れます。

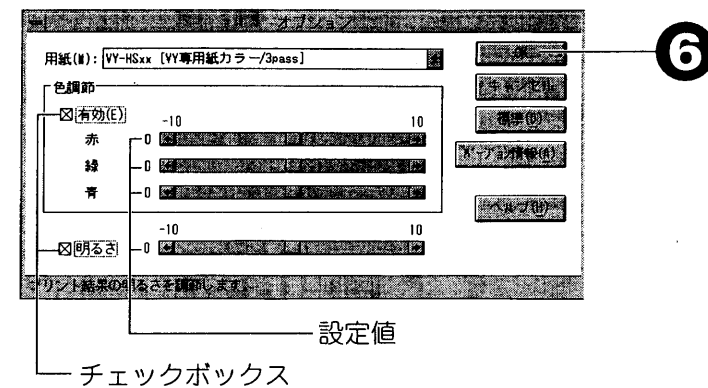


4 「オプション (O)」ボタンをクリックします。

- 「オプション」ダイアログが現れます。

5 各項目の設定をします。

- 色調節
プリント画を構成する色成分(赤、緑、青)を調節して、画像全体の色調を変更します。各色とも+10から-10の範囲で調節できます。
1. 「有効(E)」のチェックボックスをチェックします。
2. スクロールバーをスクロールさせて、設定値を変えます。
● 十の数値が大きくなるほど、各色成分は強くなります。
● 一の数値が大きくなるほど、各色成分は弱くなります。
- 明るさ
プリント画の明るさを調節します。+10から-10の範囲で調節できます。
1. 「明るさ」のチェックボックスをチェックします。
2. スクロールバーをスクロールさせて、設定値を変えます。
● 十の数値が大きくなるほど、画像は明るくなります。
● 一の数値が大きくなるほど、画像は暗くなります。



お知らせ 調節した映像をパソコンの画面で見ることにはできません。調節の具合は、プリント画で確認してください。

6 「OK」ボタンをクリックします。

- 「HITACHI VY-60D : xxx : (xxx: ポート名、例: LPT1)」ダイアログに戻ります。

7 「OK」ボタンをクリックします。

- 「プリンタの設定」ダイアログに戻ります。

8 「終了」ボタンをクリックします。

- 「コントロールパネル」に戻ります。

9 「コントロールパネル」を閉じます。

- プログラムマネージャに戻ります。
- これで画質の調節ができました。プリントすると、調節した画質でプリントされます。正しい画質でプリントされているか、確認してください。

紙づまりしたとき

ペーパーやインク紙がつまると、パソコンの画面にエラーメッセージを表示したり、プリンタ前面のランプが点滅または点灯して異常をお知らせします。症状に合わせて正しく処置してください。

パソコンのエラーメッセージについて

パソコンの画面に表示されたエラーメッセージの種類によって処置のしかたは違います。

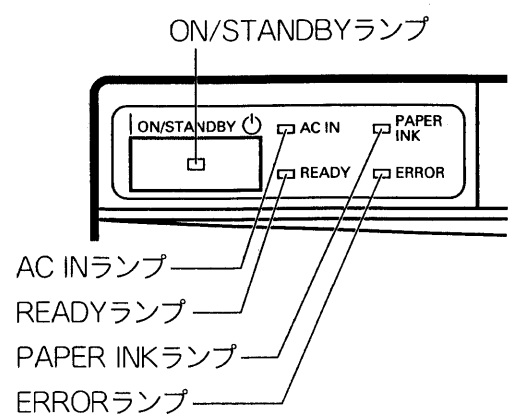
エラーメッセージ	原因	処置
「LPT1のプリンタは応答しません。」	プリンタ本体がエラー状態になっている。	プリンタ前面ランプがエラー表示になっていないか確認してください。 くわしくは下記の「エラー表示について」をご覧ください。
	プリンタがプリント中である。	「再試行」ボタンを押すか、または「プリンタの接続」ダイアログで「タイムアウト時間の設定」の「再び送信しなおすまで」の数値を60以上に設定してください。
「LPT1の用紙がないか接続されていません。プリンタケーブルの接続やネットワークの接続を確認し、用紙を補給してから再開して下さい。」	ケーブルが外れている。	ケーブルをプリンタにしっかり差し込んでください。
	「故障かな...と思ったら」(37ページ)の「PAPER INKランプが点滅している」の原因に1つでも当てはまっている項目がある。	当てはまる項目の処置を行ってください。 その後、プリンタのREADYランプが点灯したら、パソコンで「再試行」ボタンを押して、プリントを再開してください。
	プリント中に、インクドアを開けた、または給紙トレイを引き出した。	プリントは中断します。再開することはできません。キャンセルボタンを押してプリントを中止してください。 その後、次の操作を行ってください。 1. 「プリントマネージャ」をダブルクリックして開きます。 2. HITACHI VY-60Dプリンタの印刷待ちファイルを選択し、「取りやめ(D)」ボタンを押して印刷を取り消してください。 3. インクドアまたは給紙トレイを戻し、プリンタのREADYランプが点灯しているか確認してください。 4. アプリケーションから、もう一度印刷の操作を行ってください。
「[LPT1]に書き込めません。ポートの設定がプリンタにあっていないかもしれません。ジョブを取り消すか、コントロールパネルの「プリンタ」コマンドかプリントマネージャの「プリンタの設定」コマンドを選んで正しいポートを設定してください。」	プリンタ本体がエラー状態になっている。	プリンタ前面のランプがエラー表示になっていないか確認してください。 くわしくは下記の「エラー表示について」をご覧ください。

エラー表示について

点滅または点灯するランプの組み合わせによって処置のしかたは違います。下の表を参考に正しい方法で処置してください。

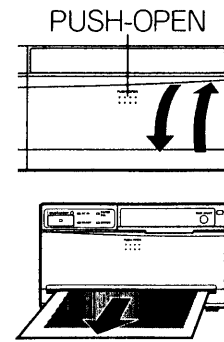
●:点灯 ○:消灯 ●-:点滅

ON/STANDBYランプ	AC INランプ	READYランプ	PAPER INKランプ	ERRORランプ	処置
○	○	○	●	●-	紙詰り
○	○	●	●	●-	紙詰り
○	●	●	○	●-	紙詰り
○	●	●	●	●-	紙詰り
●	○	○	○	●-	紙詰り
●	○	○	●	●-	紙詰り
●	○	●	○	●-	紙詰り
●	○	●	●	●-	紙詰り
●	●	○	○	●-	紙詰り
●	●	●	○	●-	紙詰り
●	●	●	●	●-	紙詰り



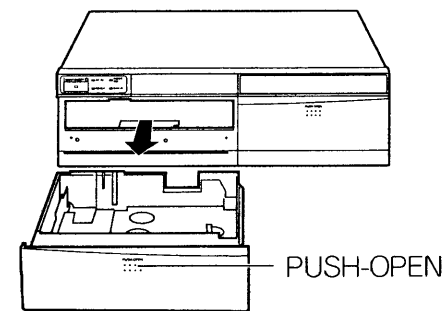
1 インクカートリッジが正しく入っているとき、インクドアを開閉します。

- インクカートリッジが奥までしっかり入っていることを確認してください。
入っていないときは、「カチッ」と音がするまでしっかり入れてください。
- 正しく入ったら、インクドアを閉じてください。
- ペーパーがつまっているときだけ、自動的にペーパーを排出します。
- ERRORランプが消えて、READYランプが点灯すれば、プリントできます。
点灯しないときは、もう一度インクドアを開閉してください。



- 以上の処置をしても、同じエラー表示をするときは、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 給紙トレイを引き出します。

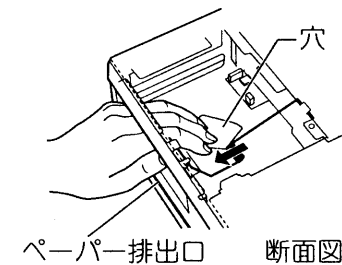


2 つまったペーパーを指で引き出します。

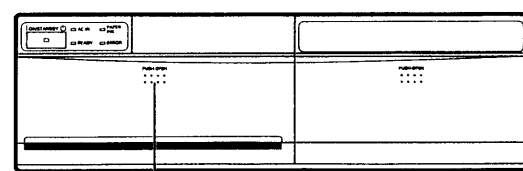
- 図のように給紙トレイ収納部に指を入れ、内側下部にある穴から、つまっているペーパーを排出口へ引き出してください。

注意

穴以外の部分には触れないでください。
けがの原因となります。



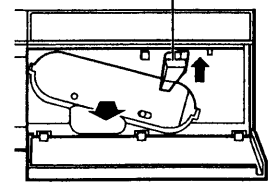
3 給紙トレイを戻します。



PUSH-OPEN

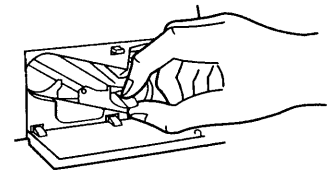
1 インクドアを開け、インクカートリッジを抜き取ります。

インクカートリッジ取り出しレバー



2 つまったペーパーを指で引き出します。

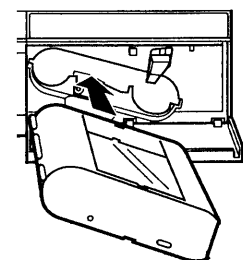
- 図のようにインクカートリッジ収納部に指を入れ、つまったペーパーを引き出してください。



注意

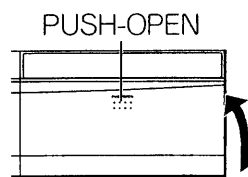
- インクカートリッジ収納部の金属部などに、強く触れると、けがの原因となることがあります。ご注意ください。
- インクカートリッジ収納部の天井付近にあるサーマルヘッドに触れないでください。やけどの原因となることがあります。特に連続プリントした直後など非常に高温になりますのでご注意ください。

3 インクカートリッジを戻します。



4 インクドアを閉じます。

- ERRORランプが消えて、READYランプが点灯すれば、プリントできます。



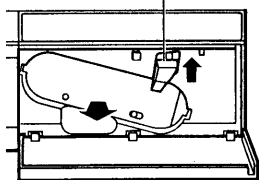
つづく

紙づまりしたとき
(つづき)

処置4

- 1** インクドアを開け、インクカートリッジを抜き取ります。

インクカートリッジ取り出しレバー

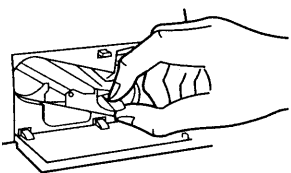


- 2** つまったペーパーを指で引き出します。

- 図のようにインクカートリッジ収納部に指を入れ、つまったペーパーを引き出してください。

注意

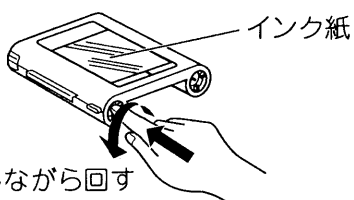
- インクカートリッジ収納部の金属部などに、強く触れると、けがの原因となることがあります。ご注意ください。
- インクカートリッジ収納部の天井付近にあるサーマルヘッドに触れないでください。やけどの原因となることがあります。特に連続プリントした直後など非常に高温になりますのでご注意ください。



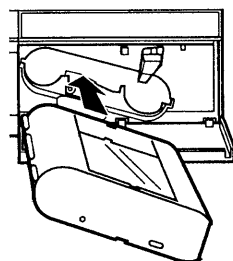
- 3** インクカートリッジのインク紙にたるみがないか確認します。

- たるんでいるときは、図のようにしてインク紙のたるみを取ってください。

押しながら回す

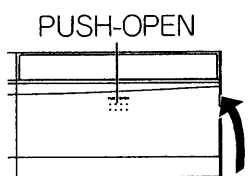


- 4** インクカートリッジを戻します。



- 5** インクドアを閉じます。

- ERRORランプが消えて、READYランプが点灯すれば、プリントできます。



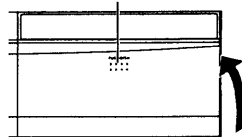
処置5

ペーパーが2枚給紙されました。

- 1** 「処置3」の手順①～④の処置をします。

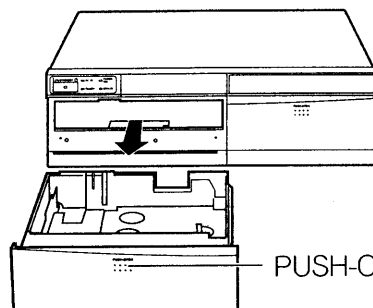
- ERRORランプが消えて、READYランプが点灯すれば、プリントできます。

PUSH-OPEN



- プリントを始めたら、再び同じエラー表示をするときは、もう一度上の処置をしたあと、次の処置をしてください。

- 1** 給紙トレイを引き出します。



PUSH-OPEN

- 2** ペーパーが正しく入っているか確認します。

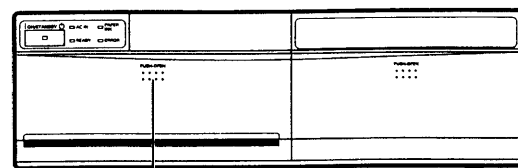
- くわしくは、17～19ページをご覧ください。

お知らせ

ペーパーとインクカートリッジはプリントキットに納められている組み合わせでプリンタに入れてください。組み合わせを変えると紙づまりの原因となります。

- 3** 給紙トレイを戻します。

- ERRORランプが消えて、READYランプが点灯すれば、プリントできます。

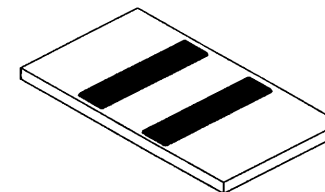


PUSH-OPEN

処置6

専門家の修理が必要です。電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。ご自分で修理しようとすると、内部の機械を破損するおそれがあります。

ペーパーまたはインクカートリッジが正しく入っていても、PAPER INKランプが点滅してプリントできないことがあります。これは、プリンタをお使いになっている間に、ペーパー搬送部が汚れて、ペーパーが給紙できなくなるためです。汚れを防ぐために、約200枚プリントしたら一度の割合で、ペーパー搬送部をクリーニングしてください。このとき、付属のはがき・クリーニングプレートを使います。

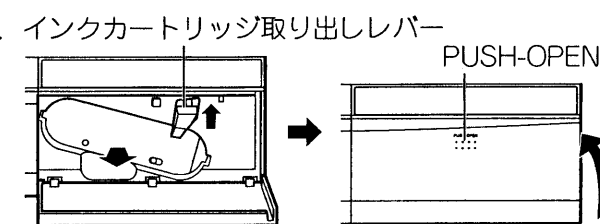


お手入れのしかた

ペーパー搬送部が汚れたとき

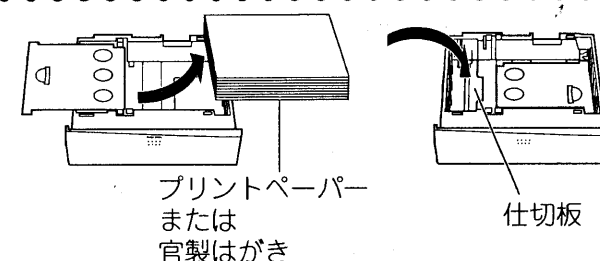
- 1** インクドアを開け、インクカートリッジを取り出します。

- 取り出したら、インクドアを開けてください。



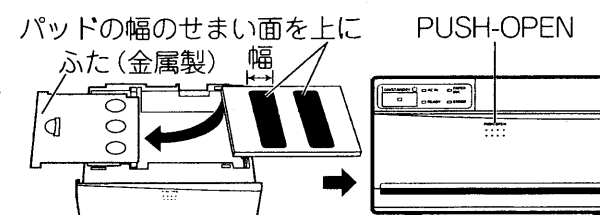
- 2** 給紙トレイを引き出し、プリントペーパーまたは官製はがきを取り出します。

- プリントペーパーまたは官製はがきは全て取り出してください。
- 取り出したら、給紙トレイの中にある仕切板が内側に倒れているか確認してください。
- 仕切板が立っているときは、内側に倒してください。



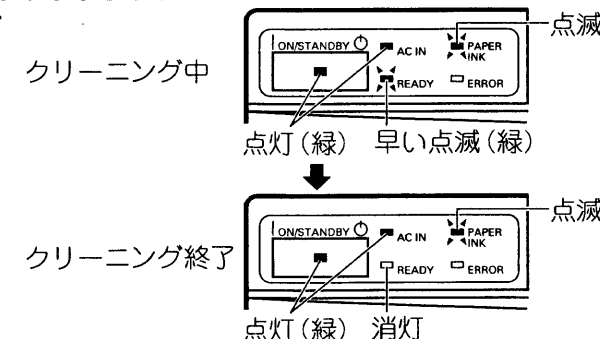
- 3** はがき・クリーニングプレートを入れます。

- プレートに付いているパッドの幅がせまい面(灰色の表面がつるつるしている面)を上にして入れます。
- 入れたら、金属製のふたをして、給紙トレイを戻してください。



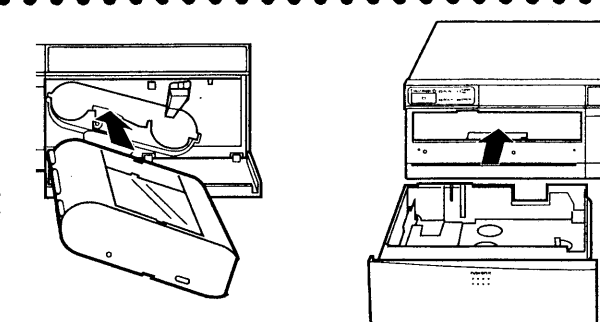
- 4** プリンタの電源が「入」のとき、TEST PRINT ボタンを押します。

- 電源が「切」のときは、ON/STANDBYボタンを押して電源を「入」にしてください。
- TEST PRINTボタンを押すと、クリーニングが始まります。
- クリーニング中はREADYランプが早い点滅になります。
- クリーニングが終わるとREADYランプが消えます。



- 5** インクカートリッジとプリントペーパーまたは官製はがきを入れます。

- はがき・クリーニングプレートは取り出してください。
- 当社製のプリントペーパーを入れるときは、給紙トレイの中にある仕切板を立ててから入れてください。
- 官製はがきを入れるときは、倒したまま入れてください。
- プリントペーパーとインクカートリッジが正しく入っているとPAPER INKランプは消えます。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。その後必ず内容をよくお読みになってから、大切に保存してください。

保証期間	プリンタ本体	: お買い上げの日から1年間
	サーマルヘッド	: お買い上げの日から6か月間

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

本機を業務用としてお使いになる方へ

サーマルヘッドや各種ゴム製部品は磨耗部品ですので、業務用としてお使いになる場合は、保証期間中でも有料となります。メカニズムの部品交換および清掃等の保守契約をおすすめします。

当社は、このデジタルカラープリンタの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の最低保有期間

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙ご相談窓口一覧表(黄色用紙)の窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電取扱店をご紹介させていただきます。なお本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼されるときは(出張修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(37ページ)に従ってお調べください。それでもなお異常があるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、デジタルカラープリンタの故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(営業損失などの補償)の責については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルカラープリンタ	ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください
形名	VY-60D	お名前	
お買い上げ日	年 月 日	電話番号	
故障の状況	できるだけ具体的に	訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検 長年ご使用の本機の点検!

デジタルカラープリンタは、パソコンからの映像を熱転写プリントするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、サーマルヘッドやペーパー搬送部は、お使いになっている間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも鮮やかにプリントしていただくためには、使用環境(温度、湿度、ほこり)などに左右されますが、およそ2,000枚を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。

くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、アフターサービスについては36ページをご覧ください。

故障かな…と思ったら

定 状	原 因	処 理	ページ	
電 源 ・ 表 示	電源が入らない。	●電源コードがコンセントまたはプリンタに接続されていない。	●電源コードをコンセントまたはプリンタに接続してください。	15
	PAPER INKランプが点滅している。	●ペーパーが入っていない。 ●反りの大きい官製はがきが入っている。 ●ペーパーの裏表が逆に入っている。 ●インクドアが開いている。 ●インクカートリッジが入っていない、または確実に入っていない。 ●インクカートリッジのインク紙を使いきった。 ●インクカートリッジのインク紙が切れている。 ●ペーパー搬送部のローラーが汚れている。	●ペーパーを入れてください。 ●反りを直してから入れてください。 ●裏表を正しく入れてください。 ●確実に閉じてください。 ●インクカートリッジを入れてください。このとき、「カチッ」と音がするまで、奥へしっかり入れてください。 ●新しいインクカートリッジに交換してください。 ●新しいインクカートリッジに交換してください。 ●はがき・クリーニングプレートを使って、ペーパー搬送部をきれいにしてください。	17 18 17 20 20 20 20 35
	READYランプが点滅している。	→	●準備動作中です。点灯が変わるまでお待ちください。	28
	ERRORランプが点滅している。	→	●紙づまりです。つまったペーパーを取り除いてください。	32, 33, 34
	プリンタのインストールができない。	●他のアプリケーションソフトなどによりメモリが不足している。	●動作しているソフトウェアを終了してください。	21
操 作	プリントしない。	●ケーブルが外れている。 ●電源が入っていない。 ●現在使用するプリンタとして、他のプリンタが設定されている。 ●プリンタの接続しているポートが違っている。 ●ペーパー搬送部のローラーが汚れている。	●ケーブルをプリンタにしっかり差し込んでください。 ●プリンタの電源を入れてください。 ●プリンタの設定でHITACHI VY-60Dを現在使用するプリンタにしてください。 ●適切なポートに設定してください。 ●はがき・クリーニングプレートを使って、ペーパー搬送部をきれいにしてください。	15 — 24 35
	プリントが中断する。	●プリンタポートがECPプリントポートに設定されている。	●プリンタポートの設定をECPポートからスタンダードポートまたはコンパチブルポートに変更してください。	—
	何もプリントしていないペーパーが出てきた。	→	●再度、ご使用になれます。	—
プ リ ン ト 画	設定したサイズや画質と全く違ってプリントされる。	●現在使用するプリンタとして他のプリンタが設定されている。	●プリンタの設定でHITACHI VY-60Dを現在使用するプリンタにしてください。	—
	プリントされた画像や輪郭がガタガタしている。	●画像の解像度(dpi)が合っていない。 ●元画像が過度に拡大縮小されている。	●画像の解像度を139dpiに設定してください。 ●このプリンタの解像度は139dpi、プリント最大ドット数は644 x 464です。アプリケーションによる元画像の拡大縮小率を変えるか、補間処理方法を精度の高いものに変えてください。	— —
	プリントイメージがプリント範囲に収まらない。	●画像のプリントサイズが118 x 85mm以上である。	●元画像のサイズが118 x 85mm以上のときは、全画面をプリントできません。画像全体のサイズを118 x 85mm以下に設定してください。	—
	プリント画の色がおかしい。	●プリンタポートがECPプリントポートに設定されている。	●プリンタポートの設定をECPポートからスタンダードポートまたはコンパチブルポートに変更してください。	—
	プリントされた画像の色調が滑らかでない、または色表現が乏しい。	●画像の色の情報が、プリンタの階調と合っていない。	●画像の色の情報を24ビット(一色につき8ビット)/ドットに近いものに設定してください。	—

あ～お

明るさ31
 アフターサービス36
 安全にお使いになるためのご注意4
 色調節31
 インクカートリッジ収納部12, 20
 インクカートリッジ取り出しレバー12, 20
 インクカートリッジを入れる20
 インク紙16, 20
 インストールする21
 エラー表示32
 エラーメッセージ32
 お手入れのしかた35
 オートパワーオフ機能29

か～こ

各部のなまえ12
 画質を調節する30
 紙づまりしたとき32
 官製はがき18, 19
 給紙トレイ12, 17, 18, 26
 給紙方法26
 結露(けつろ、つゆつき)9
 故障かな…と思ったら37
 この取扱説明書の見かた2
 コピー枚数26

さ～そ

サーマルヘッド8, 12, 20
 仕様39
 使用上のご注意9
 接続する15

た～と

ダイアログ
 一覧にないプリンタや更新されたプリンタの追加22
 オプション26, 31
 プリンタの組み込み22
 プリンタの接続24
 プリンタの設定21, 24, 25, 30
 HITACHI VY-60D26, 30
 通常使うプリンタにする23
 電源コード11, 15

点滅

ERRORランプ32
 PAPER INKランプ28
 READYランプ28
 特長11
 ドライブディスク11, 22

は～ほ

はがき・クリーニングプレート11, 35
 付属品の確認11
 プリンタの設定をする25
 プリントキット16, 27
 プリントする28
 プリントの流れ14
 プリントのペーパー16～19
 プリント面17, 19
 保守契約のおすすめ36
 保証36
 ポートを設定する24

や～よ

用紙サイズ26
 用紙方向26

A～Z

AC IN端子13, 15
 AC INランプ13, 28, 32
 ERRORランプ13, 32
 ON/STANDBYボタン12, 13, 28, 32
 PAPER INKランプ13, 28, 32
 PARALLEL DATA I/F端子13, 15
 PUSH-OPEN12, 17, 18, 20
 READYランプ13, 28, 32
 TEST PRINT ボタン12, 35

形 名	VY-60D
記録方式	昇華性染料熱転写方式
印画品質	256階調フレーム画 1,677万色
プリント画素数	644 x 464 ドット
画像メモリー	一色メモリー
印画時間	60秒/1画面(プリントキットVY-HS100またはVY-HS30使用時で、データ転送時間を除いたとき)
インク・ペーパー	インク : カートリッジ方式(専用) 3色面順次印画(イエロー、マゼンダ、シアン) ペーパー : カット紙 140 x 100 mm はがき 148 x 100 mm 印画サイズ : 118 x 85 mm
インターフェイス	パラレルインターフェイス (セントロニクス®準拠) アンフェノール36ピン
許容動作温度	5℃～35℃
許容相対湿度	30%～75%
電 源	AC100V、50/60Hz共用
消費電力	65W
外形寸法	315(幅)x 95(高さ)x 271(奥行き)/mm
質 量	4.5 kg
付 属 品	電源コード1本 ドライブディスク(3.5インチ 1.44MB)1枚 はがき・クリーニングプレート1枚

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このデジタルカラープリンタは、日本国内専用です。電源・電圧の異なる外国ではお使いになれません。